

1、み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

イザヤ43・19

2、聖書^{せいしょ}を読み^よ、質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう（イザヤ43・14～21）。

①神様^{かみさま}は、どのように自己紹介^{じこしょうかい}しておられますか（14、15節^{せつ}）。

②その神様^{かみさま}は、どのようなことをなさると言^いわれましたか（19節^{せつ}）。

み
見よ〔

③神様^{かみさま}は、何を^{なに}なさったでしょうか。いくつでも選^{えら}んでみよう。

- バビロニヤを滅^{ほろ}ぼす。 ●イスラエル人^{じん}がエルサレム^{かえ}に帰る。 ●さばくに川^{かわ}を流^{なが}れさせる。
- 神殿^{しんでん}が建^たてられる。 ●さばくを畑^{はたけ}にする。 ●さばくに町^{まち}をつく。 ●荒野^{あらの}に道^{みち}を設^{もう}ける。

3、あなた^{ことし}は、今年^{とし}をどのような年^{とし}にしたいですか。

4、今年^{ことし}、あなた^{かみさま}は、神様^{きだい}にどのようなことを期待^{きだい}しますか。

★神様^{かみさま}は、私^{わたし}たちにも新^{あた}しいことをしてくださいます。信^{しん}じて期^{きだい}待^{たい}しましょう。

③ 天^{てん}の神様^{かみさま}、イスラエル^{おも}に思^{おも}いもよらない新^{あた}しいことをされたあなた^{わたし}が、私^{わたし}にも新^{あた}しいことをしてくださると信^{しん}じます。アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

Ⅱ テモテ 3・16

2、聖書を読み、質問に答えましょう（Ⅱ テモテ 3・10～17）。

① 聖書は、どのような知恵を与えますか（15節）。

[]

② 聖書は、どのようなことにためになる（有益）でしょうか（16節）。

[]

③ 聖書に導かれた人は、どのような人になりますか（17節）。

[]

3、あなたは、聖書を読んだことがありますか。読んだことがあるなら、どのように
おも 思いましたか。感想を自由に書いてみよう。

● 読んだことがある ⇒ ()

● 読んだことがない ⇒ ぜひ、読んでみよう！

★ 聖書は、命の栄養です。体に食べ物が必要なように、

私たちの命には、聖書が必要です。毎日読みましょう。

③ イエス様、毎日聖書を読んで、命の栄養を取りながら生活できますように、
助けてください。アーメン。

1、み言葉^{ことば}を書いて覚え^かましょう。

エペソ6・18

2、聖書^{せいしょ}を読み、質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう（エペソ6・10～20）。

①神^{かみ}の武具^{ぶぐ}が必要^{ひつよう}なのはなぜ^{せつ}でしょう（11節）。

()

②神^{かみ}の武具^{ぶぐ}とはなん^かでしょう。()に書き入れよう（13-17節）。

()の帯^{おび}

()の胸当^{むねあて}

平和^{へいわ}の()の備え^{そな} ()のたて

()のかぶと み霊^{たま}の剣^{つるぎ} = ()

しんり ぶくいん
真理 福音
すく せいぎ
救い 正義
みたま しんこう
御霊 信仰
かみ
神のことば

③神^{かみ}の武具^{ぶぐ}が役^{やく}に立つ^たために、何^{なに}をするように命^{めい}じられていますか（18節）。

()

④パウロは、自分^{じぶん}のために何^{なに}をしてほしいと願^{ねが}いましたか（19～20節）。

()

3、あなたは、祈^{いの}りが必要^{ひつよう}だと思^{おも}う時^{とき}がありますか。また、どのような時^{とき}に祈^{いの}っていますか。

☆祈^{いの}りは、神様^{かみさま}とのお話し^{はな}の時^{とき}です。いつも祈^{いの}りましょう。

③ 神様^{かみさま}、どのような時^{とき}も祈^{いの}り、あなたとお話し^{はな}をして、いつもあなたといっしょに生活^{せいかつ}ができますように。アーメン。

1、み^{ことば}言^か葉^{おほ}を書いて覚えましょう。

ヘブル 10・25

2、聖^{せいしよ}書^よを読み、質^{しつもん}問^{こた}に答えましょう（ヘブル 10・19～25）。

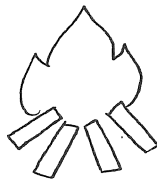
①教^{きょうかい}会^{あつ}に集^{なに}まって何^{なに}をするのでしょうか。

・22節…何^{せつ}に近^{なに}づくのでしょうか。 _____

・24節…愛^{せつ}と善^{あい}行^{ぜんこう}をどうするのでしょうか。 _____

・25節…集^{せつ}会^{しゅうかい}（あつまること）をどうするのでしょうか。

②右^{みぎ}の二^{ふた}つの絵^えのうち、どちらが
良^よく燃^もえるのでしょうか。



3、教^{きょうかい}会^{かい}には、人^{ひと}が集^{あつ}まります。あな^{あなた}の出^{しゅっせき}席^ししている教^{きょうかい}会^{かい}では、人^{ひと}が集^{あつ}まって何^{なに}
を^きしている^なのでしょうか。気^きが^なつ^かいた^かこ^かとを^な何^なでも^か書^かいて^かみ^かよう。

4、あな^{あなた}は、教^{きょうかい}会^{かい}に^き来^よて^{おも}良^{おも}か^はつ^はた^うと^う思^うつたり、励^{はげ}まし^うを^う受^うけ^うた^うこ^うが^うあ^うり^うま^うす^うか。

☆クリスチャンは、教^{きょうかい}会^{かい}に^{つど}集^{たが}う^{しんこう}こ^{はげ}と^はお^は互^はいに^は信^{しんこう}仰^{はげ}を^は励^{はげ}まし^あい^ます。

③ 神^{かみさま}様^{さま}、教^{きょうかい}会^{かい}で^{あつ}の^{かんしゃ}集^{しゅうかい}まり^きに^{たが}感^{しんこう}謝^{つよ}しま^{つよ}す。毎^{まい}週^{しゅう} 教^{きょうかい}会^{かい}に^き来^{たが}て、互^{しんこう}いの^{つよ}信^{しんこう}仰^{つよ}を^{つよ}強^{つよ}め^{つよ}さ^{つよ}せ^{つよ}て^{つよ}く^{つよ}だ^{つよ}さ^{つよ}い。ア^アー^アメ^アン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

ローマ 12・1

2、聖書を読み、質問に答えましょう（ローマ 12・1～2）。

①神様へのささげものとは、何ですか（1節）。

[]

②ささげものをするとは、何をするようになりますか（1節）。

[]

③礼拝を大切にしている人は、どのようにになりますか。考えてみよう（2節）。

◆「この世」に対しては…

◆あなたの「心」は…

◆何を「わきまえ」ますか…

3、あなたは、教会学校や礼拝に出席して、「自分は、変わった」と思うことがありますか。礼拝に出席する恵みを考えてみよう。

☆自分をささげて礼拝することにより、人は、神にふさわしい者に造りかえられます。

③ 神様、自分を心からあなたにささげて、あなたに喜ばれる礼拝ができますように。そして私を、あなたのみ心のままに造りかえてください。アーメン。

1、み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

ローマ 12・15

2、聖書^{せいしょ}を読み、質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう（ローマ 12・3～21）。

①（ ）に書き入れて、聖書^{せいしょ}の言葉^{ことば}を確認^{かくにん}しよう。

6節 わたしたちは（ ）によって、

（ ）賜物^{たまもの}を持^もっている…

10節 兄弟愛^{きょうだいあい}をもつて（ ）、

（ ）なさい。

②上^{うへ}のみ言葉^{ことば}を読んで、わかることをいくつでも選^{えら}んでみよう。

◎賜物^{たまもの}は、神様^{かみさま}からのプレゼント。

◎他^{ほか}の人^{ひと}の賜物^{たまもの}を認め^{みと}め、喜^{よろこ}ぶ。

◎賜物^{たまもの}は、自分^{じぶん}のためにある。

◎賜物^{たまもの}ない人^{ひと}は、だめな人^{ひと}。

◎賜物^{たまもの}を他^{ほか}の人^{ひと}のために役立^{やくだ}てるべき。

◎賜物^{たまもの}は、人^{ひと}によて違^{ちが}う。

3、「喜^{よろこ}ぶ者^{もの}と共に喜^{よろこ}び、泣^なく者^{もの}と共に泣^なきなさい」というお話^{はなし}を聞^きいて、学校^{がっこう}やお家^{うち}などで、何^{なに}かしようと思^{おも}ったことはありますか。

☆人それぞれに得意^{とくい}、不得意^{ふとくい}があります。人^{ひと}の良^よい所^{ところ}は喜^{よろこ}び、
足^たりない所^{ところ}は、助^{たす}けてあげましょう。

③ 神様^{かみさま}、私^{わたし}にも賜物^{たまもの}が与^{あた}えられていることに感謝^{かんしゃ}します。それ^{ひと}を人^{ひと}のために役立^{やくだ}て、共に喜^{よろこ}び、共に悲^{かな}しむ者^{もの}としてください。アーメン。

1、^{ことば} ^か ^{おほ} み言葉を書いて覚えましょう。

Ⅱ コリント 9・7

2、^{けんきん} ^{なに} ^{けんきん} 献金って何? どうして献金するの? (@.@)/

(1) ^{けんきん} ^{かみさま} ^{かんしゃ} 献金は『神様への感謝』として^{ささ} ^{かね} 献げるお金ですよ。

(2) ^{かいひ} ^{げっしゅ} ^{さんかひ} ^{ぜいきん} ^{ちよきん} 会費、月謝、参加費、税金、貯金などどう違うだろう?



(3) あなたは、^{かみさま} ^{かんしゃ} 神様に感謝していますか? … (ヒント) ^{つく} あなたを造られたのはだれですか
^{すく} やしなっておられるのはだれですか
救ってくれたのはだれですか

3、^{こころ} どういう心でささげたらいいの? (@.@)/

(1) ^{かみさま} ^{れい} ^{かんが} 神様は、あなたが^{こころ} ^{けんきん} どういう心で献金をしているのか、^み 見ておられますよ。

(2) 2つの例を考えてみましょう。それぞれ、^{こころ} どういう心でささげたのでしょうか?

【良い例】「レプタ2枚」マルコ 12・41～44

①

【悪い例】「アナニヤとサツピラ」使徒行伝 5・1～11

②



(3) ^{じぶん} ^{よく} 自分の欲のためや、^{ひと} ^{よく} 人によく見せるためではなく、^{こころ} ^{かんしゃ} 心から感謝して^{たいせつ} ささげることが大切です。

4、^{いくらぐらい} ^{ささげたらいいの?} (@.@)/

(1) マラキ 3・8～12 を^よ 読んでみてほしい。

^{きじゆん} ^か どういう基準が書いてあった?

分の1

(2) でも、^{かみさま} ^{かんしゃ} 神様に感謝して、^{いじょう} ^{こころ} それ以上を、心で決めたとおりに^{ささ} ^げ ささげることがよいことです。

5、^{けんきん} ^{なに} 献金したら、何かいいことあるの? (@.@)/

(1) ^{きまえ} ^{かみさま} ^{むく} ^{あた} 気前のよい神様は、ゆたかな報いを^{あた} ^{やくそく} 与えてくださると約束しています。

マラキ 3・10～12 を^よ 読んで、^{かみさま} ^{やくそく} 神様の約束を書きましょう。



③ ^{かみさま} ^{かんしゃ} 神様、あなたに感謝し、心から 10 分の 1 をささげます。また、もっと感謝して、^{むく} ^{かんしゃ} もっとささげます。あなたのゆたかな報いをも感謝します。・・・ アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

I コリント 9・23

2、パウロはどうして、このみ言葉のように言えたのでしょうか。○をしよう。

①

自分の救われた経験があまりにもすばらしいから。

②

自分の得意な分野であるし、好きなことだから。

③

救われる前の自分は、イエス様に敵対して滅びに向かっていて

④

むかしの自分のように、滅びに向かっていて人があまりに多いから。

3、パウロの回心の場面（使徒行伝9章1～30節）を読んで、答えてください。

(1) ユダヤ教徒であったパウロ（サウル）は、全力を注いで何をしていましたか。



(2) イエス様と突然に出会った時（3～9節）、パウロはどうなりましたか。



(3) 敵であったパウロに、イエス様はどんな使命を与えたでしょう（15～16節）。

(4) パウロはどのように変わったでしょう（17～30節）。



4、こんなに悪かった自分が救われ、変えられたからこそ、パウロは次のように言えたのです。□の中に言葉を入れましょう。

①自分を救った福音を伝えるために

(23節)

②すべての人が救われるために

(22節)

③

神様、パウロと同じように、私をも救ってください感謝します。一人でも多くの人が救われるように、私も伝道します。・・・ アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

黙示録 19・7

2、あてはまるものに○をしてください。

(1) 結婚式を見たことがありますか。⇒ (ある ・ ない)

(2) どんな様子でしたか。⇒ 着飾ってる・暗い・輝いている・悲しそう・無表情
つらそう・うれしそう・おこっている・すてき・きれい

3、花婿のイエス様が、結婚する相手はだれですか。

全世界、全歴史の中でただ一つの

ノアも、アブラハムも、イサクも、ヤコブも、モーセも、ペテロも、パウロもいるよ！
もちろん君も↓ネ。

4、あなたもイエス様を信じて罪ゆるされ、このキリスト教会に加わっているのです。⇒わかりますか。⇒ ハイ→自分の名前を書こう→
イエ→6～8節を読もう

5、この花婿のイエス様は、あなたを花嫁として迎えるために、何をしてくれましたか。

の中に、同じ一つの文字を書き入れましょう。

イエス様は、あなたの身代わりに罪の罰を受け、十字架で を流されました。(★13節)、
その があなたの罪と汚れを洗い流して、あなたの衣は光り輝く汚れのないものになったので(★8節)、あなたは結婚式に出る花嫁にふさわしいものとなったのです。

(★印)の8節、13節を読んで確かめましょう。



6、今のあなたの衣はどうでしょうか。イエス様との結婚式に出られますか。罪の悔い

改めをし、イエス様の血で洗っていただき、きれいになっていますか。○をしよう。



ハイ

→ 感謝！今後もきよい歩みをして、結婚式を待ち望みましょう。

イエ

→ 罪を悔い改めて、イエス様の血で罪を洗ってもらいましょう。



神様、私もキリスト教会の一員として、イエス様との結婚式に招かれていること

を感謝します。花嫁としてふさわしい者になしてください。・・・ アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

黙示録 20・10

2、悪魔(サタン)の起源についての箇所

聖書は、「天使長の一人が、神のようになりたいと高慢な思いをいだき、
神様に反逆して天から投げ落とされ、悪魔になった」と言っています。

イザヤ14章
12～15節
を読んで、
確認しよう。



3、悪魔の性質と働きについて、聖書の箇所と、それにあう内容を線で結びましょう。

聖書の箇所

その内容

- ①創世記 3・1～7 ● ● (A) 神様に聖徒の悪口を言い、訴えています
- ②ヨブ記 1・6～12 ● ● (B) 国々の権威と栄華は悪魔にまかされています
- ③マタイ 4・1～11 ● ● (C) 最初の人間のアダムとエバをだまし、罪をおかさせました
- ④ルカ 4・5～7 ● ● (D) クリスチャンを試みて、ふるいにかけます
- ⑤ルカ 22・31 ● ● (E) イエス様の十字架が失敗するように誘惑してきました

4、悪魔は、神の許しの範囲内で働くことが許されていましたが、黙示録20・1～10には、悪魔の滅びが記されています。その順番を□の中に入れてみましょう。

悪魔はイエス様
との最後の戦いに敗
れ、裁かれ、滅びます。

御使いが悪魔を、
千年の間、獄に閉じ込
めて働けなくします。

千年の後、悪魔は解放
され世界を惑わし、最後の
戦いの準備をします。

イエス様と復活し
た聖徒たちは、千年間、
地上を支配します。

5、神様の前で、「かずかずの書物」と「いのちの書」が開かれ、人間も裁かれます。

あなたの生涯の全ての思い、言葉
行動が記録され、それをもとに裁か
れます。

しかし、イエス様を信じたクリスチャンの名前
はこの「いのちの書」に書いてあり、その人は
どんな罪もゆるされており、天国にいくのです。

悪魔は自分の滅びが定まっているので、
ひとりでも多くの人間を道連れにしようと
誘惑してきます。あなたは大丈夫ですか。



神様、悪魔の滅びが定まっていることを感謝します。その誘惑に負けないように
お守りください。・・・ アーメン。

1、^{ことば}み言葉を^か書いて^{おぼ}覚えましょう。

いま わたし
が住んで
いる、この
天と地の
ことだよ。

黙示録21・1

2、「^{さき}先の(以前の、^{さいしょ}最初の) ^{てん}天と^ち地」は^{ところ}どういう所ですか。 ^{せいしょ}聖書を^{しら}調べてみましょう。

(1) ^{そうせいき}創世記1・1

(2) ^{そうせいき}創世記1・3-1

(3) ^{そうせいき}創世記2・1

(4) ^{そうせいき}創世記3・17-18

かんせい
完成した
すぐ後から、こ
われ続けて
いるんだ。



つまり、^{つみ}罪のゆえに、^ち地はのろわれて、^{あくま}悪魔の^{しはい}支配するところとなってしまうんだね。

3、^{いま}今の^{てん}天と^ち地は、^{つづ}こわれ続けて^{さいご}最後にはなくなってしまうのです。その^{あと}後で、^{かみさま}神様は
^{あたら}新しい^{てん}天と^ち地を造ると、^{やくそく}約束してくださいました。5節の^{せつ}約束を書きましょう。



^{あたら}「新しい」とは、^{かいりょう}改良した^{あたら}新しさではなく、^{まっく}全く別の^{しつ}質の^{あたら}新しい^いもの、^いという意味だよ。

4、その^{あたら}新しい^{てん}天と^ち地はどんな所ですか。3～4節を見て の中に書き入れましょう。

^{かみさま}神様が

①

おられ

②

③

④

⑤

⑥

がない。

5、^{わたし}私たちも、^{あたら}新しい^{てん}天と^ち地に入^{はい}りましょう。

黙示録21・27

(1) だれが、^{はい}入れるのですか。

(2) だれが、^{はい}入れないのですか。

黙示録21・8



^{かみさま}神様、^{あたら}私も^{てん}新しい^ち天と^ち地に入れていただけること感謝します。・・・アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

黙示録 22・1

2、創世記21・9～22・5には、「都」のことが書かれています。
ここを読んで、「都」の文字に印をつけよう、何回出てきたかな。

①



(1)「都」とは、だれのことですか。

②

21・2、9

(2)「小羊」とは、だれのことですか。

③

(3)「妻なる花嫁」とは、
何のことですか。

④

わたしたちクリス
チャンのことだよ。

3、この「都」がどういう姿かたちをしているか、調べてみましょう。

(1)輝きは

⑤

21・11

(2)大通りは

⑥

21・21

(3)形は

⑦

21・16 サイコロ形

(4)大きさは

⑧

2220km×3

(5)城壁の高さは

⑨

65m

(6)いのちの水の川

⑩

22・1

(7)都に

ないもの

⑪

21・22

⑫

21・23

⑬

⑭

22・5

(8)川の両側
にあるもの

⑮

22・2

(9)住民は何を
しているの

⑯

22・3

4、その都の絵をかいてみよう。

今、聖書で調べた様子を想像
しながら楽しくかいてみよう。



5、わたしたちも

イエス様の ⑮ であり

この都の ⑯ です。

③ 神様、このことを感謝します
アーメン。

ワークC解説 1~3月

1/7

●第1問 聖書を開き、暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に聖書から答えます。

①あなたをあがなう者、イスラエルの聖者、主、イスラエルの創造者、あなたがたの王。名前は、神の性質や働きをあらわし、神様がどのようなお方であるかがわかります。

③聖書が意味していることは、「バビロニヤを滅ぼす」、「イスラエル人がエルサレムに帰る」、「神殿が建てられる」ですが、聖書にある表現をそのまま答えた場合には、その意味を説明します。

●第3問 子どもが考えている目標や抱負を自由に書いてもらいます。

●第4問 新年にあたり、創造者、王、主、あがなう者である神様に期待することを自由に書いてもらいます。神のみ心になう願いであるなら、神様がなされることに期待するよう信仰を励まし、祈ってあげましょう。

1/14

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 聖書を輪読し、聖書を見ながら質問に答えます。子どもにとって聖書から抜き出して書くのが大変なようであれば、予め質問のポイントとなる部分を虫食いにし、み言葉を書き込んでおくと良いでしょう。

●第3問 読んだことがあるなら、その感想を自由に書いてもらいます。読むことが難しいと感じているようなら、読みやすいところを紹介したり、聖書を読んで恵まれた証をしあっても良いでしょう。毎日、聖書に親しむように勧めます。

1/21

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、聖書を見ながらそれぞれの質問に答えます。祈りが空しいもののように感じている子どももいるかもしれません。獄中のパウロも、遠くからであっても自分のために祈っている人々を必要としていました。

●第3問 I テサロニケ5・17では、絶えず祈ることが命じられています。良い時も悪い時も、順調な時もそうでない時も、大きな事も小さな事も。特別な時ばかりでなく、日常の中でいつも、どのようなことでも祈るような習慣を持つよう勧めます。キリストから引き離そうとする悪魔の策略に勝利するために、祈りが必要です。

1/28

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。

●第3問 自由に書いてもらいます。お祈りをする、お喋りをする、賛美をする、食事をする、会議をする、説教を聞く、遊ぶなど。何げないことやいつもしていることであっても、お話しで聞いたような意味があることを説明します。また、子どもから見た教会の姿を（課題も含めて）知ることにもなります。

●第4問 子ども自身が、教会に来ていることをどのように考えているかわかります。連れられてきている子ども、誘われてきている子どもなど集会出席に消極的な子どもがある場合は、教会に集うことの恵みを確認しましょう。また、子どもが喜んできているようであるなら、共に感謝の祈りをささげましょう。

2/4

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を読み、それぞれの質問に答えます。
①からだ。②礼拝。

- 第3問 礼拝の恵みを、自分のこととして確認します。また、子どもがどのような思いで教会に来ているか、また教会以外での生活もわかります。礼拝がその子どもにとって祝福となっていないようなら、その原因を考え、祝福を求めて祈りましょう。

2/11

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。朗読が長いようなら、3～15節まででも良いでしょう。様々な賜物が列挙されていますが、賜物の具体的な内容より、賜物をお互いのために用いるようにという命令が重要です。子どもから聖書に記されている賜物について質問された時のために、個々の賜物について調べておくとい良いでしょう。

- 第3問 積極的なことが書き難い場合、喜ぶ人をねたんだり、泣き悲しんでいる人を見下げたりということがあるかもしれません。第2問①②を参照しつつ、お互いを尊重し、同情したり助けたりできるよう折ってあげましょう。

2/18

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 (2) 会費、月謝、参加費は代価として支払うもの、税金は国民の益となる働きに用いるため国民の義務として納めるお金、貯金は自分の将来のための備えとして預けるもの、いずれも自分のためにすることです。一方、献金は神様への感謝と全ては神様から与えられたものであるという信仰の表明です。(3) 感謝は、神様が何をしてくださったかがわかると自然に出てくるものです。

- 第3問 献金をささげる時の心を、聖書の2箇所を例にして比較します。①自分の持っている全てを神様への感謝としてささげたやもめ、②欲に負け、自分を良く見せようと献金をごまかしたアナニヤとサッピラです。
- 第4問 神様が教えられた献金の割合の根拠として、マラキ3・8～12を読みます。十一献金、月定献金の説明もすると良いでしょう。「自分の心で決めたとおりにささげる」とは、少ない額を自分で勝手に決めるというのではなく、聖書の基準があり、それを踏まえて心からの感謝をささげると言うことです。
- 第5問 献金に対して、神様からの報いの約束があります。神様を試みるのは罪ですが、この箇所だけは「神様を試みて、神様が天の窓を開いてあふれる恵みを注ぐか否かを見なさい」とあり、神様が人間に対して信仰の挑戦をしておられるかのようです。

2/25

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 ○は、①、③、④ですが、次の第3問で使徒行伝を読んだ後で考えた方がわかりやすいでしょう。

- 第3問 少し長いのですが、使徒行伝からパウロ自身の救いの体験を確認します。答えは、(1) キリストとクリスチャンに対する迫害、(2) あまりのショックに3日間、目が見えず、飲み食いもできなくなった、(3) 異邦人にもユダヤ人にも、キリストの名を伝える使命を与えた、(4) キリストを憎み迫害する者から、キリストを宣べ伝える宣教者となった、です。
- 第4問 答えは①どんなことでもする、②すべての人のようになった、です。

3/4

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 自分が見た（出席した）結婚式のことを思い出して、そのときの様子を○をつけます。
- 第3問 答えは「キリスト教会」です。しかし、これは現在、世界中にたくさんある各個教会ではなく、全世界、全歴史の全クリスチャンが集う、唯一のキリスト教会のことです。
- 第4問 キリストを救い主と信じているのならば、あなたも、そのキリスト教会の一員だと教え、名前を書きます。
- 第5問 一人一人のクリスチャンを、滅びから救い、花嫁とするためにイエス様は十字架で血を流してくださいました。答えは「血」です。8節、13節を読んで確かめましょう。
- 第6問 今度は自分がキリストの花嫁として、ふさわしくなっているかどうか自問させます。なっていないければ罪の悔い改めに導き、お祈りしましょう。

3/11

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 悪魔の起源を聖書から確認し、イザヤ14・12～15を読みます。聖書は悪魔についてあまり詳しく記していませんので、わかりにくくもありますが、起源を確かめるのは大切です。
- 第3問 聖書5箇所を開いて、悪魔の性質、活動、目的、意図、人間との関係などを確認し、その内容に線をひいてつなげます。「①C」「②A」「③E」「④B」「⑤D」のペアで線をひきます。
- 第4問 悪魔がこの世の栄華、権力などに力を持ち、この世を支配していると言っても、それは神様の許可の範囲でだけであり、最後には滅びが決定されています。それを、1～10節を読んで確認します。答えは左から「4、1、3、2」です。
- 第5問 11～15節の人間への審判のところで、「かずかずの書」には一人一人の全生涯の記録（思い、考え、言葉、行動…）が記されており、それが神の前で明らかになること、しかし、同時にキリストを信じているものは「いのちの書」に名前が記されていて、裁かれないことを教えます。悪魔は自分の滅びが定められ、自分が働ける時間も少ないことを知っていて、必死になって人間が救われないように、信仰が墮落するように誘惑してくることを教えます。祈りの中で神様に助けを求めましょう。

3/18

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 新しい天地の前に、1節で消え去った古い天地（つまり、今現在、私たちが生きているこの天地のこと）の状態や根拠を聖書から確認します。答えは次のとおりです。（1）はじめに神が創造された天地であること、（2）はなはだ良かったと心から喜びご満足された天地であること、（3）2章1節で「完成」したこと（この時エネルギーは充填され、後それを使い続けて、今も、宇宙天体は動き続けていること、それは自然界の中では崩壊の方向であり、進化の方向はありえないこと）、（4）アダムとエバの墮罪の結果、地はのろわれていることなど。
これが、今、私たちが生きている天と地の状態であり、これが崩壊することが預言されているのです。
- 第3問 そして、新天新地を造られると言う神様の宣言を5節から確認し書き出します。この新天新地の新しさは、改善、改良ではなく、全く質の違う別の天地であることも教えます。
- 第4問 答えは①「共に」②「涙」③「死」④「悲しみ」⑤「叫び」⑥「痛み」です。
- 第5問 答えは次のとおりです。（1）「小羊のいのちの書に名を記された者」、（2）「おくびょうな者」「信じない者」「忌むべき者」「人殺し」「姦淫を行う者」「まじないをする者」「偶像を拝む者」「すべて偽りを言う者」。

3/25

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 答えは次のとおりです。①口語訳聖書では、「17回」、新改訳聖書では「21回」、新共同訳聖書では「23回」です。②小羊の妻なる花嫁、③イエス様、④キリスト教会。
- 第3問 答えは次のとおりです。⑤高価な宝石のよう、透明な碧玉のよう、⑥透き通ったガラスのような純金、⑦方形（正方形、四角）、⑧縦、横、高さがいづれも2220km、⑨65m、⑩水晶のように輝いている、⑪聖所（神が聖所だから）、⑫日・太陽（神があかりだから）、⑬月、⑭あかり、⑮夜、⑯いのちの木（これは創世記2・9、3・22に出てくるものです）、⑰神を礼拝している（この世では私たちは、罪の定めにより、食を得るために働いているのですが、天の都ではその必要がなく、本来なすべき礼拝を心ゆくまでしているのです）。
- 第4問 これまで調べた都の様子を、想像力を働かせて楽しく絵にしてみましょう。
- 第5問 答えは⑱花嫁、⑲住民です。このことを感謝して祈りましょう。